

新年を彩る若きマエストロ—華やかなヴァイオリンの音色とともに。

YMFGもみじ

ニューイヤークンサート

YMFG MOMIJI

New Year Concert 2019

指揮:角田 鋼亮

ヴァイオリン:南 紫音

管弦楽:広島交響楽団

2019

1/5

15:00開演
SAT [14:00開場]

広島文化学園HBGホール (広島市文化交流会館)

S席=<前売り>¥3,500 <当日>¥4,000

A席=<前売り>¥3,000 <当日>¥3,500

B席=<前売り>¥2,500 <当日>¥3,000

学生券(B席)=<前売り>・当日¥1,000(要学生証)

※全席指定 ※学生券の前売りはもみじ銀行経営管理部広報のみ取扱 ※乳幼児等就学時前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

チケット販売所—

エディオン広島本店プレイガイド(サンモール1F) 082-247-5111

中国新聞販売所(取り寄せ)

福屋八丁堀本店プレイガイド 082-246-6911

ローソンチケット(Lコード 61676)

福屋広島駅前店チケットサロン 082-568-3942

電子チケットぴあ(Pコード 121-377)

中国新聞社読者広報部 082-236-2455



主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行経営管理部 広報 TEL:082-241-3043

モーツァルト

歌劇「魔笛」序曲 K.620

ベートーヴェン

ロマンス第2番 へ長調 Op.50

クライスラー

愛の喜び

マスネ

タイスの瞑想曲

サン=サーンス

序奏と

ロンド・カプリチオーソ Op.28

ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」

ハ短調 Op.67

©大杉集平

©Shuichi Tsunoda

New Year Concert 2019

指揮 角田 鋼亮

Kosuke Tsunoda, conductor

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第3回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。2008年、ドラマ「新春スペシャル・のだめカンタービレ」においては千秋真一役の指揮指導を務めた。2016年、第11回名古屋ベンクラブ音楽賞を受賞。

これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌、群響、仙台フィル、東京都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、アンサンブル金沢、京都市響、大阪フィル、日本センチュリー響、大響、九響等と共演している。

現在、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、セントラル愛知交響楽団指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者のポジションを務めている。2019年4月にはセントラル愛知交響楽団常任指揮者の就任が決まっており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。

公式ホームページ：<http://kosuketsunoda.com>



©大杉幸平

ヴァイオリン 南 紫音

Shion Minami, violin

南紫音は、2005年ロン＝ティボー国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞、2015年には、難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールで第2位を受賞し、最も期待されている若手実力派ヴァイオリニストの一人である。

1989年北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。現在、ドイツのハノーファーに在住し、クシシトフ・ヴェグジンに師事。

2000年、第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位。同年、第10回日本クラシック音楽コンクール全国大会小学校の部第2位(1位なし)。2002年、第56回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第1位。2004年イタリア・ナポリで行われた第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。2005年イタリア・デビューを果たす。同年10月、ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に、リサイタルで最も優秀な演奏をした者に贈られる「サセム賞」も受賞した。2015年には、世界でも難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞した。

これまでに国内主要オーケストラをはじめ、フランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座室内合奏団とも協演、スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーも好評を博した。

2011年12月、クラシック音楽界初の公式アプリ「南紫音のヴァイオリンへの扉」の無料配信もスタートし話題を集めた。CD録音も積極的に行い、2008年3月にユニバーサルミュージックの新レーベル「UCJジャパン」の第一弾アーティストとしてCDデビューも果たし、これまでに3枚のCDをリリースしている。

2005年北九州市民文化奨励賞、2006年福岡県文化賞受賞。2010年第11回ホテルオークラ賞受賞。2011年第21回出光音楽賞、2017年度北九州市民文化賞を受賞。



©Shuichi Tsunoda

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1970年に名称を「広島交響楽団」とし、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拓いている。2017年より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス、ロシア、韓国、などで海外公演も行うなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズ、「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約140回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広響初)で行われた「平和のタペ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。

2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

会場：広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)

〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881

アクセス

バス：広島バス24号線 吉島病院又は吉島営業所行き乗車(約25分) 加古町バス停下車すぐ
路面電車：広島電鉄江波線「舟入町」電停より徒歩5分/広島電鉄宇品線「市役所前」電停より徒歩12分

主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行経営管理部 広報 TEL:082-241-3043

